

人がその条理に従って生きた時、人は互いに相手に対してもつと思いやりを持つようになるのさ。もしその条理に沿って生きない場合は、その代価を宇宙の秩序の法則によって支払わなくてはならないのさ。偶然でこの世に生きているのではない。この世のなかに偶然というものはないんだよ。

すべては高い次元の秩序によって動かされているのさ。

もし我々がまだ認めていない局面をもつと意識できるようになれば、我々は自分が何者なのか、また人生の目的についても、もつとわかるのだと思いますよ。

ちよつと考えてみてください。音波や光の波が空想でないのと同じように、この思考の波というべきものが存在するのですよ。エネルギー不滅の法則から言っても、科学的に説明ができるのです。だから、もしあなたがとても敏感で、正しい思考の波長と合わせさえすれば、アカシックレコードの波を捉えて、過去を見ることもできるのですよ。

人が犯す最も大きな誤りは、人生は、すでに前もって決められており、変えることができないと思ってしまうことだ。現在の人生が最も重要であり、カルマとの関係において、自由意志を発揮

することが最も大切である。自分の精神的内面に触れ、人生の目的が何であるかを発見することは、我々の自由意志にかかっている。我々の行いは、すべて最終的には自分に返ってきて、自分が責任を負わなくてはならない。

また責任というものが何であるかを知ること、自分の責任である。

「すべての答は自分の内にある。目を開いて見よ」

神の意志

——すべてが現れるエネルギーの力——

すべての生きものの上にあり、我々人間もその一部であり、かつ神の意志が我々の一部でもあると言っていた。

我々に課せられた任務はその神性を自分自身の中に見出し、“神の意志”と共に生きることだと言うのである。

己を探求せよ。されば、すべての解答は、己の内にあるだろう。人の靈魂は肉体および頭脳を含め、全宇宙の靈の一部である。従って、すべての解答は己の内にある。汝の運命とカルマ（業）は自己の靈魂の今までの行いと、靈魂がどれだけ覚醒しているかによるであろう。

すべての靈魂は究極的には全宇宙の靈と一体であることを知れ。自分自身と今すぐ会うがよい。

「いつも自分の神性を意識し、それに従って行動することじゃ」

では、いったい誰が、人はどこから来てどこへ行こうとしているのかを教えてくださいのだろうか。

真の答えは、我々よりも、ずっとよく知っていて、賢くて、思いやりがあって、優しい“ある力”の中にあるに違いない。そして、その力を理解する前に、私達は自分自身を理解する必要がある。

今度は自分自身が大きな疑問になるのだ。“神は何か”という疑問ではなく、“自分は何なのか”という疑問なのである。

「まず私達は光の中にいた。次にその光が私達の中にあつた。最期に私達と光は一体になった。」

人生は辛いソースみたいなものさ。君が楽しみ始めるや否や君を泣かせるのさ。一番大切な鍵は、あるがままを受け容れるということなんだ。それに自分自身を受け容れること。自分自身を受け容れられなかったら、他の何物も受け容れることができないんだ。自分自身を受け容れるためには、自分を知らなければならぬ。自分自身を知るというのは、すべての中で一番奥深い知識なんだよ。

キリストが“汝自身を知れ”と言っているね。それに、“正直であれ”とも言っている。なぜなら、君自身が小宇宙なのだ。宇宙の子供というわけさ。

そうさ、イエス・キリストは完璧に自分の魂を磨いた人なのさ。他の人にだって、できることなんだよ。それが本当のキリストのメッセージなんだ。誰でも、キリストが成し遂げたことを同じように成し遂げることができる。

——自分自身の可能性を信じなさい。

もちろん。これは宇宙のすべての魂に要求されていることなんだ。それが生きるということの目的なんだよ。そして、マヤン達が教えようとしていることなんだよ。

——汝自身の可能性を知れ。地球の外の人達も、もっと自分を知らうと努力しているんだ。でも、地球上では、我々自身の精神的な側面は、すっかり忘れ去られてしまっているんだよ。

神を愛し、隣人を愛し、自分自身を愛し、神のわざを愛しなさい。あなたも神のわざの一部なんだから。

我々の体は原子からできており、我々の魂は、この源のエネルギーからできているんだ。

魂は僕たちの体を作っている原子や分子のエネルギーとは、全く違った種類のものなんだがね。つまり、亜原子の力で、生命を

つかさどる知的エネルギーなんだ。一つ一つの細胞の一部であり、DNAの一部であり、我々の中にあるエネルギーだ。そして、我々自身でもあり、その力の全体が、我々が神と呼ぶ存在なんだよ。

私の命は、私の体が死んでも終わるわけではないから、うつかりすると、永遠にカルマにつき合わなければならないのだ。だから、今すぐ、新しい出発をした方がよい。

人ひとりの人間の魂ほど大切なものはないこと、それぞれの魂には全宇宙の価値が宿っていることを、何回もデイビッドに言い聞かせた。人類は螺旋状に進化するように作られており、一見、我々はちつとも進歩していないかに見えるが、実はそうでない。一回ずつ、この世に生まれて来るたびに、自分にはわからなくても、少しずつ高いレベルに移行しているのである。そして、一人の魂が少しでも進化すれば、宇宙全体の仕組と動きに影響を与えるのである。

一人ひとりの魂は、それほど大きな意味を持っているのである。

魂の存在は、物理的には証明できないかもしれない。また、その必要もない。私がその存在を信じれば、それは存在する、ということなのだ。ということは、私が認めれば、信じれば、すべてのことが私には事実となるのだ。たぶん私が山で学んだことは、このことなのだ。限界を置かずに、ものを考えるということ。何

事もあり得る、人は何でもできる、どこにでも飛んでいけるし、何にでもなれる。一人の人間の魂は、宇宙のすべてなのだ。この事実を悟るか否かは、私達一人ひとりにかかっているのだ。

愛さえも超えて アウト・オン・ア・リム 地湧社

シャリー・マクレーン